



株式会社 **ライブワークス**

就労継続支援A型事業所 代表取締役 中里 明光

障がい者社会福祉施設

八戸市大字市川町字下揚45番地10

TEL 0178-80-7004

2017年8月1日 開設

利用定員 20名



「経験・自信・自創」

～ 障がい特性を乗り越え、職能人材の育成を図る ～

株式会社エコブリッジ（自動車・電子情報機器リサイクル事業）のグループ企業として設立。自動車・電子情報機器リサイクルする際の部品・鉄・非鉄・電子基板・プラスチック等の解体分別作業をライブワークスへ委託。

さらに外部就労として、水産加工品（煮干し・ミール）作業・草刈り作業などのほか、オフィス家具リユースの清掃作業及び物販展示会向け準備作業の委託や、漁網リサイクルとして廃棄プラスチック部類のビニールポリエステルの分別回収作業など、生産活動を拡大しております。

また、生産性向上に関わる労働賃金キャリアパスプランを実施。労働賃金評価制度を作成し、本人の自己評価と職員全員の評価を数値化することで、「労働技術向上の見える化」を図ると共に「生活環境」も評価に加え、総合評価制度を実施しています。

さらに班長グループ制を用い、連帯協調性の向上も図っています。

【加盟団体】 就労継続支援A型事業所全国協議会・船井総合研究所障がい者サービス研究会・八戸職親会

学び、働くヨロコビ。

自動車リサイクル



自動車リサイクル法に基づき、フロンガス回収処理・エアバック展開破壊処理・廃プラスチック及び鉄非鉄の適性処理、使用可能な自動車リユース部品の生産を行い国内、海外へと販路を拡大しています。自動車の機械構造はメーカー別に違いがあり分解する技術が必要です。利用者一人一人に対しエコブリッジ社員の技術指導とライブ職員によるフォローにて着実に技術を習得し、生産販売に大きく貢献しています。

さらに、利用者4人1班を編成し班長が作業管理を行い、不具合の改善・工具類管理・生産効率改善を班内で管理する仕組みも定着しています。

電子情報機器リサイクル



電子情報機器リサイクルは機密情報データの完全破壊と鉄非鉄及び廃プラスチック類の分別回収、電子基板からレアメタル・レアアースの回収販売をします。パソコン・コピー機・複写機・サーバーなど精密機器の為、自動車以上に手間のかかる作業となり、手先の器用が求められドライバーや電気工具類を使い各種メーカーの違いを確認しながらの作業はかなりの知恵と集中力を必要とします。複写機の本体重量は100kg前後あり、トラック回収時の積み下ろし作業も危険を伴う為、荷役安全の注意喚起と対策をチーム班にて改善会議を行っています。

経験と、自信。～ 資格取得 ～

フォークリフト運転技能講習修了<令和元年8名受講・総取得者10名>



自動車・電子情報機器の搬送作業時に欠かせないフォークリフト運転技能資格の取得を目指しました。5日間の学科・実技研修と試験に挑戦、この講習に参加することにより現場作業の安全意識を高める効果と、試験合格まで極度な緊張感で臨むプロセスを体験しました。結果、合格時の喜びと自信は自らを大きく成長させてくれました。

刈払い機取扱作業安全衛生教育修了<令和元年13名受講・総取得者14名>



障がい者就労で多い草刈り作業。注意しなければならないのが、多発する刈払い作業中の事故です。事故防止の観点と刈払い機の操作手順を学び、安全作業を行います。様々な場所での作業は効率も求められるため作業進行も考案し、刈り取った草木の廃棄物処理に関しても教育をしています。

日本自動車リサイクル機構主催

自動車リサイクル士資格取得 < 令和4年2名受講・総取得者4名 >



自動車リサイクル法に基づく廃棄自動車適正処理に関する法律遵守及び3R（リユース・リデュース・リサイクル）推進を目的として、作業従事者の知識・スキルアップ・労働安全を考慮した資格取得に挑戦しました。フロンガス回収、エアバック処理、リサイクル全般に関する知識と作業手順及び労働安全衛生法に関わるカリキュラムとなっており、専門知識を得る上で質の高い教育を高めることができました。

労働安全衛生法と安全作業研修・交通安全講習。

労働安全衛生に関する研修会および消防・防災訓練



労働安全の重要性と自らを守ることへの意識付けを徹底して教育します。作業中の危険性・荷役の危険性を座学と実技で行い、安全管理体制を確保しています。年2回の消防消火訓練と、セコムセンターの指導員及び八戸消防本部市川分室指導員を招き実技訓練を行っています。当事業所は八戸水産加工団地内で海と川に近いので、緊急避難訓練を重ねることで緊急時の対応を身につけています。

委託外部作業。～ 工業・漁業・福祉の連携推進～

草刈り作業



刈払い機の作業員資格取得後、早速お客様依頼の作業を開始しました。刈払い機の回転歯が、草を切るだけでなく石を飛ばし人や車に当てる事故を防ぐため防護ネットを移動させながら作業を行います。キレイに刈る技術と周辺の安全を確認する作業を同時に行うことで、作業注意の感覚を養えます。

にぼし生産作業



ミール生産作業



事業所に隣接する水産事業者様からの作業依頼。煮干し生産では大きなパレットに茹でた小型イワシを広げ、機械乾燥と天日干しを繰り返す作業に従事します。2人1組となり息を合わせて効率よく配列と回収を行うことでチーム感を創ります。魚類ミール生産も含め依頼主の作業指導を仰ぎ、生産過程も学習しています。

漁網リサイクル作業



プラスチック資源循環促進法に基づき、廃棄プラスチックの精緻な分別回収により再資源として活用する時を迎え、その一旦として漁網リサイクルの分別作業開始。親網ロープとナイロン網を分別、親網はリユース再利用、ナイロン網はプラスチック再生工場へ出荷し再び資源として再利用される仕組み。これにより、サーキュラーエコノミーの取組に貢献できます。

地域文化・スポーツ・農業振興参加。

八戸三社大祭



南部町主催 長ぐつアイスホッケー大会



りんご収穫作業



対外的交流活動として、文化観光祭である八戸三社大祭の運行に参加。歴史・山車芸術を学び、山車組スタッフ皆様とも積極的にふれあいます。さらにチーム協調を育む活動として長ぐつアイスホッケー大会に参加し、チーム一丸となり労をねぎらい互いに称え合うことで、スポーツの楽しさと健康増進を推進します。大会終了後は、焼肉店にて慰労会を行い美味しく楽しくを満喫します。また、一昨年より農業ボランティアとして、りんごの収穫作業をお手伝いしています。